

ボランティア赴任前留意事項 (スワジランド王国)

- 青年海外協力隊（長期）
- 青年海外協力隊（短期）
- シニア海外ボランティア（長期）
- シニア海外ボランティア（短期）
- 日系社会青年ボランティア
- 日系社会シニア・ボランティア

※本資料に記載の情報は、作成日現在のものであり、その後状況が変化している場合があります。記載内容については正確を期していますが、万が一誤りがあった場合にはJICAは責任を負いかねますのでご了承ください。

※本資料はJICAボランティアを対象としたものであり、その他の方には該当しない情報も含まれている可能性があることをご承知おきください。

目次

《全ボランティア共有》

1. 携行荷物について
 - ・ 赴任時に必ず持参するもの
2. 別送荷物について
 - ・ アナカン・郵送等の利用について
 - ・ 通関情報について
3. 通信状況について
 - ・ パソコンの普及状況
 - ・ 固定電話、携帯電話の普及状況
4. 現金の持ち込み等について
 - ・ 現金持込にかかる注意
 - ・ 両替状況
 - ・ 赴任時に用意することが望ましい金額について
5. 治安状況について
6. 交通事情について
7. 医療事情について
8. 蚊帳について *マラリア・デング熱汚染地域のみ
9. 問合わせ先

《青年海外協力隊／日系社会青年ボランティア対象》

* 単車貸与者、自動車関連職種の派遣がある国のみ

10. 運転免許証について
(該当なし)

《シニア海外ボランティア／日系社会シニア・ボランティアのみ》

11. 車両の購入・輸送について
 - ・ 運転免許証について（本邦、国際免許証携行の要否）
 - ・ 現地運転免許の取得手続き
 - ・ 車両の購入・輸送について
12. その他
 - ・ 南ア入国時の注意
 - ・ 南アからスワジランドへの移動
 - ・ スワジランドで入手できる物品
 - ・ コンセント変換アダプターについて
 - ・ 銀行口座開設について

- ※ スワジランド王国は、南アフリカ事務所が兼轄しています。また、スワジランド王国は地理的に南アフリカ共和国とその国境の大部分を接しており、そのため経済的にも南アフリカ共和国との緊密な関係にあります。(スワジランド王国の通貨「リランゲーニ」(複数形「エマランゲーニ」)は南アフリカ共和国通貨「ランド」と等価)
- ※ 生活環境は南アフリカ共和国と似ていますので、南アフリカ共和国に関する情報も参考にするようにしてください。

1 携行荷物について

・赴任時に必ず持参するもの

スワジランドを管轄する南ア事務所にてブリーフィングを受けたのち、スワジランドに移動します。(現地訓練の有無によって首都プレトリアでの滞在期間が異なります。現地訓練があるJOCVは約1か月プレトリアに滞在したのちスワジランドに移動します。現地訓練がないSV及び短期ボランティアは南ア事務所にて数日のオリエンテーションを受けたのち、スワジランドに移動します。プレトリアではゲストハウスに宿泊)。そのため、持参する荷物はできるだけコンパクトにまとめ、すぐに必要でないものは、別送扱いにすることもできます。

基本的に衣料、生活用品のほとんどがスワジランドで購入可能です。送料および紛失のリスクを考えた場合、よほど使い慣れた物や特殊品以外は、スワジランドで購入した方が安上がりとも言えます。

なお、大使館への表敬訪問(在南アフリカ共和国日本国大使館がスワジランドを兼轄しているため、同大使館に表敬訪問をします。所在地は、JICA南アフリカ共和国事務所と同じプレトリアです。)の関係上、背広等TPOに合わせた衣類とJICAボランティア・ハンドブックは必ず赴任時(預け入れでなく)携行荷物としてください。(過去に1度荷物紛失が起きています。)

(通関について)

下記の品目について、途中立ち寄りとなる南アフリカ共和国(以下「南ア」)への持込の禁止や制限がありますのでご注意ください。特に、2007年から、液体・準液体の手荷物持ち込みについての規制が厳しくなりました。詳細は、下記ウェブサイトを確認してください。

また、スワジランド入国時においても同様と考えられますが、該当すると考えられる場合は、各自で事前に確認するようにしてください。

- ・タバコ： 紙巻400本と葉巻50本、パイプタバコ250g
- ・酒類： 蒸留酒1本(1L) 他にワイン2本(2L)
- ・香水： 50mL及びオードトワレ250mL
- ・土産品： 500ランド相当
- ・禁止品： 肉、飛び出しナイフ、麻薬、劇薬、弾薬、爆発物、猥褻な書物
- ・その他： 植物、ハチミツ、乳製品、果物などは許可が必要

関連ウェブサイト

■ Japan

http://www.mlit.go.jp/koku/03_information/13_motikomiseigen/index.html

■ 香港国際空港

<http://www.hongkongairport.com/en/passenger-guide/airport-security/index.page>

■ O. R. タンボ空港 (South Africa)

<http://www.airports.co.za/airports/or-tambo-international/At-the-airport/security>

2 別送荷物について

・アナカン・郵送等の利用について

本邦からの荷物送付には、国際郵便、アナカン、DHL 等が利用可能です。各種郵便サービスの概要・禁制品は各自で確認してください。

アナカンを利用する場合は、必ずエアウェイビル (Air Way Bill) 等の関係書類を持参してください。なお、引取り等の通関手続は専門業者に委託することになりますので、別途手数料等 (荷物の金額・数量等によりますが、約 3 万円：手数料、保管料等) および引取りに数日掛かりますので注意願います。

南アには (株) 日本通運の事務所がありますので、本邦にて同社へアナカン取扱いを依頼 (「フリーハウスデリバリー」と依頼) することで、直接南アにある JICA 事務所まで送付が可能です。当地で発生する全ての経費を含め、本邦での依頼時に支払う事になり、当地では別途経費は発生しません。

※2017年3月現在、スワジランドでのEMSの取扱いは行っていないとのことです。

(<http://www.post.japanpost.jp/cgi-kokusai/country.php?cid=187>)

ご自身の荷物の引取り手数料や税金、輸送時の事故、荷物の未着等や保管中のトラブルについては自己責任ですので、予め了解願います。

(郵便物等の送付宛先)

ア) スワジランドへの送付

スワジランドへ直接送付する場合には、各自の配属先の私書箱宛に送ることになります。記入要領は下記の南ア事務所宛の場合と同様になります。郵便物引き取り時の無用なトラブルを避けるためにも、任地着任後に各自で宛先を確認し、日本の留守家族等に送付を依頼することをお勧めします。

イ) 南ア事務所宛の送付

赴任時荷物の宛先を JICA 南ア事務所としても構いません。任地赴任後に当事務所に届いた荷物を事務所でボランティアに代わって受け取ります。しかし、その後すぐに任地へ転送することは困難ですのでご承知おきください。

赴任時の事務所でのオリエンテーション中に受け取ることを希望する場合には、当地での引き取りに必要な時間を考慮して発送するようにしてください。(EMS の場合は遅くとも日本出発 1 か月前までには必ず発送するようにしてください。)

南アでの郵便物等の引取り手数料や税金は、送付内容申告金額で大きく左右されます

ので、送付時における申告金額を低く設定するか、中古品として価値無と表示することをお勧めします（総額5万円ほどの金額を記入し、約R2000（2万円）を請求された隊員がいます）。なお、保険は申告金額に対して保証されますので、保険が必要な高価物品の郵送は推奨できません。また、楽器や形状の変わった荷物は、開けられて長期間差し止められることがありますので、内容記載にご注意ください。

JICA南アフリカ事務所： JICA SOUTH AFRICA OFFICE

郵便物及び郵便小包の場合（SALを含む）

宛先：（郵便物は私書箱制度で、郵便局に取りに行くこととなります。）

P.O. Box 14068, Hatfield, 0028, South Africa

電話：+27-12-346-4493 FAX：+27-12-346-4966

DHL等国際宅配便の場合：（原則として宛先まで届けられます。）

Lord Charles Office Park, Block B, 1st Floor, 337

Brooklyn Streets, Brooklyn, Pretoria, 0081, South Africa

電話：+27-12-346-4493 FAX：+27-12-346-4966

※いずれの場合も宛先には必ずボランテニア個人名を書き、その下に c/o JICA South Africa Office（JICA南ア事務所気付という意味です）と住所等を記入してください。

宛先記入例

（国際郵便小包を南ア事務所宛に送る場合）

From: xxxx Kokusai
（日本の住所）

To: xxxx Kokusai
c/o JICA South Africa Office
P O Box 14068, Hatfield, 0028
SOUTH AFRICA

・ 通関情報について

前述のとおり、通関情報は送付方法によって異なりますので、各自で事前によく調べるようにしてください。

3 通信状況について

・ パソコンの普及状況

首都ムババネにおいてはパソコンも普及しつつあり、本体（デスクトップ、ラップトップ）やソフトウェア、消耗品等も、標準的なものであれば入手可能です。ただし、日本語OSや日本語ソフトウェアの購入は出来ません Windows OSの日本語化や日本語の表示、入力等を設定する

ことが現地で購入するパソコンでも可能ですが、コンピュータに詳しい方以外にはお勧めできません。

事務所との通信連絡手段、ボランティアポータルシステム等において電子メール、インターネットを活用しますので、各自でパソコンを持参されること、そして、コンピュータウィルスの脅威に備えて、アンチウィルスソフトの使用と、緊急時用リカバリーCDの持参、また、不測の事態に備えて、赴任前に大切なデータのバックアップをしておくこと等をお勧めします。

インターネットに関しては首都や都市部ではインターネットカフェの利用が可能です。携帯電話会社 MTN(<https://www.mtn.co.sz/Pages/Home.aspx>)では、携帯電話を利用した 3G インターネットサービスも提供しています。(詳細は任地着任後に確認をするようにしてください。)

・ 固定電話、携帯電話の普及状況

他のアフリカの国々同様にスワジランドにおいても近年では携帯電話の普及が目覚ましくなっています。通話状況は比較的良く、日本と携帯を使って良好に通話することもできますが、携帯電話会社の機器の不具合等で通信不能となることが多々あります。契約形態については、前述の USB モデムを利用したインターネットの利用と同様、短期の場合にはプリペイド方式に限定されることが多いようです。

安全対策のため、JICA ボランティアの皆さんには携帯電話を所持していただきますが、所持する携帯電話については個人の判断にお任せします。現地で購入される場合には JICA が上限の範囲内(通話と SMS が可能な最低限の機種)で実費を補助します。日本で利用している携帯電話を南アでも利用する場合には、現地の SIM カードを使うと通話料等を安く抑えることができますので、SIM フリーのものをお持ちになることをお勧めします。なお、機種にもよりますが、日本で利用している携帯電話をそのまま南ア及びスワジランドで利用することもできます。ただし、ローミングとなるため通話料が高額になります。利用される場合には非常用として利用する程度に留めることをお勧めします。

※マイクロ SIM、nano SIM カードも販売されています。

4 現金の持ち込み等について

・ 現金の持ち込みにかかる注意

2008 年 8 月から南ア出入国時に南ア通貨 25,000 ランド以上の現金、または 1 万米ドル相当以上の外貨現金を携行する場合には申告が必要となりました。これを怠った場合には、没収の対象となりますのでご注意ください。

税関当局による現金携行の規制については未だ不明確な点もあり、また防犯上の観点から、大使館からは多額の現金を携行することは避けるよう注意喚起も出ています。

スワジランド入国時には持ち込む通貨の規制はないようですが、多額の現金の持ち込みは安全対策上避けるようにお願いします。

・ 両替情報

米国ドルのキャッシュ、から「リランゲーニ」(現地通貨)への交換は可能です。南アの通貨「ランド」以外の他国の貨幣からの交換は、銀行や両替所によっては難しいところがあります

ので、必要な場合は米国ドル貨もしくはランドでの持参をお勧めします。米国ドルが手軽に換金できます。なお、南アの首都プレトリアや到着空港である O R TAMBO 国際空港においては日本円の現金からランドへの換金が可能です。南アの「ランド」はそのままスワジランド国内で使用可能（換金不要）ですが、南ア国内では「リランゲーニ」から「ランド」への換金や「リランゲーニ」の使用はできません。クレジットカードの使用は一般的で、国際的に有名なクレジットカード（VISA、Master 等）は、ホテルや大型店（スーパーマーケット含）、レストラン等で使用可能です。JTB は使用できません。しかし、クレジットカード関係の犯罪も最近多発しておりますので、クレジットカードの利用を考えている場合は、明細が手元に届く等の対処を事前に行うことをお勧めします。インターネットバンキングや CITI BANK カードや Cirrus、Maestro、Plus マークのある日本の銀行 ATM カードで現地通貨が引き出せる銀行もあります。

なお、本邦以外の外国銀行に個人のドル銀行口座を保有し、日当等の振込みを同口座に考えている方は、スワジランドへの振込みが出来ない可能性やスワジランドで ATM カードによる引き出しができない可能性もありますので、予め調査するようにお願いします。

スワジランドの主な銀行として、

First National Bank (<https://www.fnbswaziland.co.sz/index.html>),

Nedbank Swaziland

(<https://www.nedbank.co.sz/content/nedbank-swaziland/desktop/sz/en/personal.html>),

Standard Bank Swaziland (<https://www.standardbank.co.sz/>)などが挙げられます。

(アルファベット順)

・赴任時に用意することが望ましい金額

長期派遣ボランティアの場合：

南ア到着日からの首都プレトリアでの宿泊費は事務所負担です。任地の住居は原則配属先が提供する予定です。そのため、到着日から必要な費用は食費や任地で生活を立ち上げるために必要な経費です。プレトリアにおける 1 日の生活費は約 R100~150(約 1000 円~1,500 円)程度を目安としてください。任地では自炊ができるようになるため、一般的にこれよりも安くなります。

赴任後約 3 ヶ月分の海外手当は、到着翌日に現金で支給する予定です。よって、到着日に必要な経費(昼食・夕食代や飲み物等分として R500 (約 5,000 円)程度)は各自で準備するようにお願いします。

協力隊員の場合には上記の海外手当で当面の生活できることを考慮すると、赴任時には任地移動後の生活立ち上げのための経費として 1000 米国ドル程度のお金を用意するとよいと思います。(なお、SV で現地で車の購入を考えている場合にはこの限りではありません。)

シニア海外ボランティアの場合も同様ですが、車両購入予定やご家族の随伴予定等によって必要な金額は異なります。なお、車の購入代金は、ご家族に依頼することや日本出国前に手続きをしておくことで、ご自身で販売店の銀行口座に日本の銀行から送金することもできますのでこの点も考慮してご検討ください。

また、これ以外にスワジランドでは入手しにくい食料品（日本メーカー製の醤油、味噌、麺つゆ、納豆等）（金額は日本の 1.5~2 倍程度）を購入する場合や自動車運転免許証抜粋証明（後

述)を取得する場合には手数料(在南ア日本国大使館のホームページで金額をご確認ください)も必要となります。南アからスワジランドへの移動は陸路となり、通常調整員が同行します。

5 治安状況

詳細については、赴任後のオリエンテーション初日に説明する予定ですが、南アの空港到着時および空港からの移動時には各自で責任を持って荷物の管理をお願いします。

また、スリ、置き引き、恐喝、強盗などの一般犯罪の他に、銃器を使った重犯罪に巻き込まれる可能性もあるので、日々の行動に細心の注意を払う必要があります。既にお聞きのとおり、南アは人口に比した犯罪発生率が非常に高い国です。親切そうに近寄ってくる人々にも注意してください。

スワジランドについては、南アの大都市圏に比較して、犯罪報告件数は少なめですが、日本から比べると十分に危険な状況のため、常日頃からの注意は必要です。

6 交通事情について

車は日本と同様左側通行です。日本と異なる点として、ラウンド・アバウトと呼ばれるロータリー式の交差点やランプと呼ばれるスピードを落とさせるためにわざと作ったかまぼこ型の出っ張りがあること等が挙げられます。また、首都ムババネは山地であるため 比較的スピードを出す運転手は少ないようですが、郊外ではスピード(100km/h以上)を出して運転する車が多く注意が必要です。首都圏、首都と地方を結ぶ主要道路はよく舗装されています。地方ではメイン道路を外れると未舗装道路が多く注意が必要です。運転する際には歩行者のほか、動物、道路にあいている穴等にも注意が必要です。

歩く場合には、歩道がない道がほとんどですので特に注意が必要です。信号機のある交差点や横断歩道がほとんどないため、首都、地方を問わず、道を横断する際は各自で左右をよく注意して道を渡ります。周りの人が渡っているからといって道路を横断するのではなく、自分自身の目で、左右をよく確かめて、横断する必要があります。

なお、スワジランドで運転手を雇用することはその賃金を考えると残念ながら一般的とはいえません。

メータータクシーは、値段の事前交渉が必要ですが比較的安心して利用することができます。また、レンタカー会社もAVIS等の国際的なレンタカー会社も含め数社存在、運転手つきでの貸し出しもしています。

スワジランドの首都ムババネやスワジランド中・西部は山地であり傾斜やカーブが多い国ですので、車に酔い易い人は、酔い止めなどの薬を準備することをお勧めします。

7 医療事情について

スワジランドの医療機関は、施設や医療サービスも他院より比較的充実した私立病院とその他の公立病院の2つに分けることができます。首都が任地となる場合、仮に着任後、体調を崩しても医療機関についてはあまり心配する必要はありません。しかしながら、地方においては十分な医療を受けられる医療機関は少ないため、注意が必要です。

また、普段から気にかかっている慢性的な疾患（虫歯、貧血、高血圧等）がある場合には、出発前までに治療を行ってください。また、日本の薬は入手出来ませんので、常備薬等のある人は必ず必要量を持参してください。（スワジランドでは、薬は原則として、医師の診断後の指示において購入することになります。）

なお、南半球に位置するスワジランドの季節は日本と逆になります。冬季である5月～9月は、朝夕には気温がかなり下がり、セーターやコートを必要とする時間帯がある一方で、日中は20度を超える日が多いなど、1日の中でも寒暖の差が大きくなりますので、特に注意が必要です。

同国西部は標高1200m以上の山地がつながり、森林におおわれた高原ですが、東部は標高が下がり、草原地帯となっています。（首都ムババネの標高：1375m）

併せて、環境が変わることによるストレスの大きさは予想以上に大きいものです。赴任前から体調を含めた健康管理には十分に気をつけてください。

4月： 夏季から冬季への季節の変わり目にあたり、特に一日の中で寒暖の差が大きな時期になります。

6～7月： 当地における冬季にあたり、首都では標高があるため夜間の気温が零度以下まで下がることもあります。また、雨がほとんど降らない時期で、非常に乾燥しています。朝夕の外出時にはコート、セーターが必要ですが、日中の気温が15℃以上になることもあり、気温の変化に合わせた服装が必要です。

9月： 春にあたり、温暖な季節ですが、朝夕は気温が下がり、日中は気温が上昇します。夏と冬の天候に戻る場合もありますので、注意が必要です。また、10月の短い雨期の前で乾燥しています。

12月： 夏季にあたり、多くの地域で30℃を超える季節となります。この時期は3月位まで蒸し暑さが続きます。雨も多く降る季節となります。

8 蚊帳について

スワジランドではマラリアの流行地ではなく、首都病院では輸入マラリアを発症した患者の対応が極稀にあるのみです。過去にマラリアに罹患したボランティアはいませんが東部・南部の低地での活動が多くなるような場合には罹患する可能性がまったくないわけではありませんので注意が必要です。蚊帳、虫よけスプレー、蚊取り線香、電気蚊取り機、殺虫剤、網戸に使える網などは地方でも入手可能です。

9 問合わせ先

任国での活動に関する質問は、以下のボランティア事業担当者のアドレス宛にメールでお問い合わせください。

※長期ボランティアの方は、お問い合わせは派遣前訓練が開始してから行ってください。

※活動に関わる内容以外の質問はお控えください。

担当者：菊池壽晴（きくち としはる）VC

メールアドレス : Kikuchi.Toshiharu@jica.go.jp

電話番号 : +27-83-623-9387

《青年海外協力隊／日系社会青年ボランティア対象》

* 単車貸与者、自動車関連職種の派遣がある国のみ

10 運転免許証について

(該当なし)

《シニア海外ボランティア／日系社会シニア・ボランティアのみ》

11 車両の購入・輸送について

- ・ 本邦、国際運転免許証の携行の要否

スワジランドでは、在南アフリカ共和国日本国大使館で日本の運転免許証抜粋証明を取得し、それと日本の運転免許証（原本）とを同時に携行することで車を運転することができます。この方法によらず日本の国際運転免許証でも運転することができます。

※ 抜粋証明手数料は個人負担となります。手数料は在南アフリカ日本国大使館ホームページで事前に確認してください。

- ・ 現地運転免許証の取得手続き

日本の運転免許証を現地の運転免許証に書き換えることはできません。現地の運転免許証を取得する場合には、スワジランドの学科試験、実技試験を受ける必要があります。

- ・ 車両の購入・輸送について

自動車の購入は新車、中古車、いずれも購入可能です(中古車が主流)。トヨタ、ニッサン、マツダ、ベンツ、ワーゲン等、日本と同じようにあります。新車価格は車両価格の高い南ア等からの輸入となるため、日本よりも割高です。中古車は日本からの輸入車もあり種類も価格もさまざまです。値段は日本よりも割高です。(1500cc、セダン、10年落ちで50万円程度)

自分で日本から車を持ち込むことも可能ですが、スワジランドには JICA 事務所がないため、手続き等のサポートは、配属先関係者にお願いすることとなります。また、手続きにはかなりの時間を要します。

南アで購入しスワジランドに持ち込むこともできますが、この場合には業者に依頼して輸入することになります。いろいろな手数料のことを勘案すると車両を購入する場合には、現地で購入することをお勧めします。

なお、車を免税で輸入することもできますが、手続きに1か月ほど要します。免税で購入した場合、売却時に輸入税を払う可能性があることを考えると、車両を購入する場合には、現地で購入することをお勧めします。なお、これまでに派遣されたSVは任地で中古車を購入して利用していました。

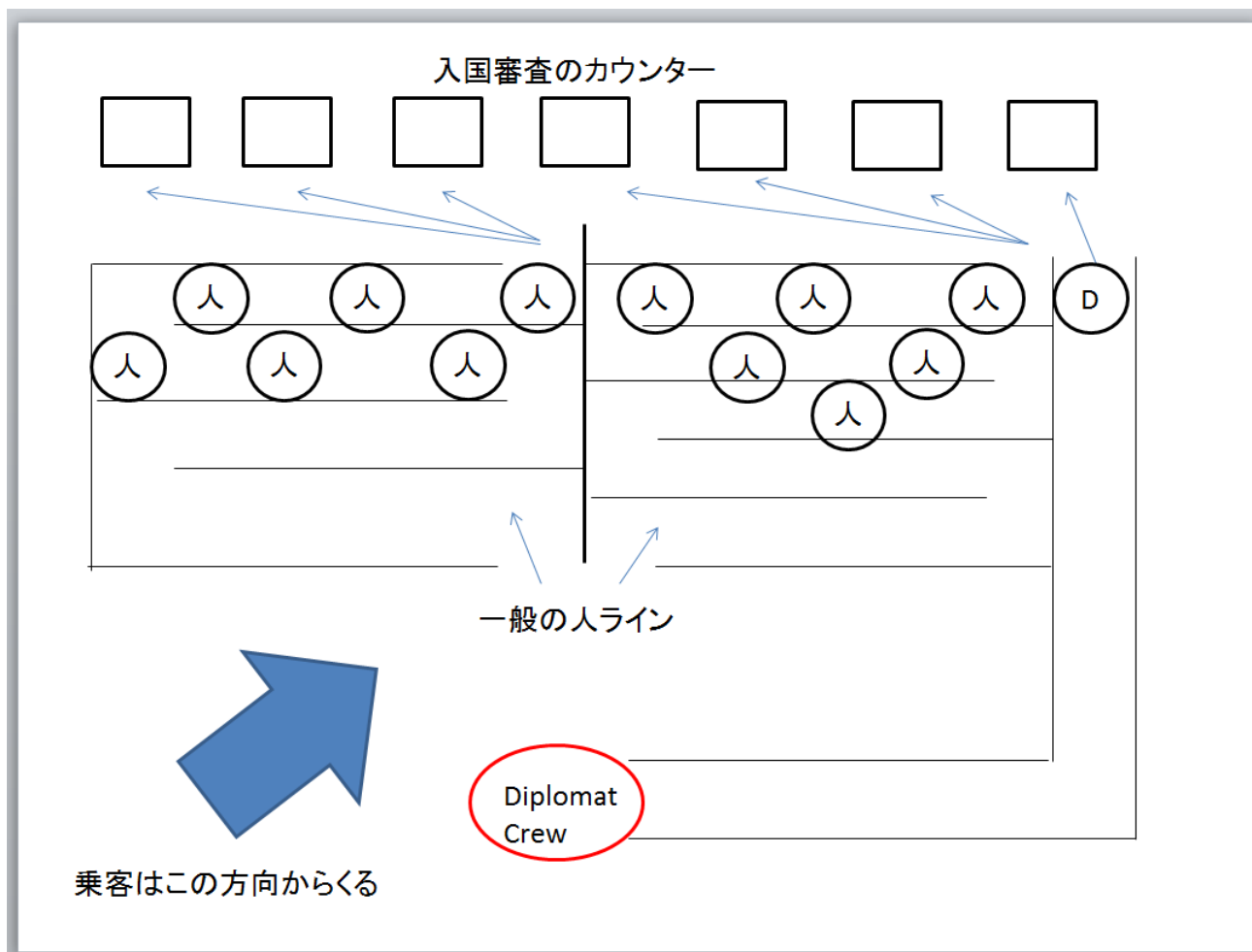
12 その他

- ・ 南ア入国時の注意(着任時)

企画調査員（ボランティア事業）（VC）または現地職員が到着ゲートを出たところで出迎えます。VC 等は南アの空港税関内には立ち入れませんので、入国手続き、税関手続き、また機内預け荷物を紛失した場合の手続き等は各人で行うこととなります。

南ア T.R Tambo 空港での入国審査では多くの旅行者が長蛇の列を作っており、一般の列に並ぶと 30 分から 1 時間ほど時間がかかります。公用旅券を所持するボランティアは Diplomat とみなされるため、一般の列ではなく、以下の地図を参照に「Diplomat」のラインに並び入国審査を受けてください。

なお、一般旅券で渡航する短期ボランティアは、一般のラインで入国審査を受けてください。



機内預け荷物を紛失した場合の手続き等は各人で行うこととなります。

紛失した預け入れ荷物に関連する手続き以外で何らかの理由で書類に住所の記載を求められた場合には、住所の詳細を記載しない（例：地区名、通り名までとする。）か、JICA の私書箱番号を書いておいてください。それでもなお具体的な住所を聞かれた場合には、Protea Hotel, Hatfield など、**ホテルの名前**を教えてください。

所持金額が高額の場合の申告書類から犯罪に巻き込まれるケースもありますので、多額現金の持ち込みはできる限り控えてください。

なお、入国時に荷物の紛失等で時間がかかる恐れが発生した場合には、全員で待つのではなく、先に入国できる人は入国し、外の VC 等に遅れる旨を伝えてください。

出迎えの職員が見つからない場合も、空港内をむやみに歩き回らず、到着ゲートに留まって

いてください。こちらも皆さんを見つけられない場合は丸い「JICA ロゴ」のカードを持って探していますので、見つけたら声をかけてください。

基本的に空港ポーターの利用はせず、荷物は各自で責任を持って運んでください。仮にポーターが必要な場合には出迎えの調整員等に相談してください。荷物の運搬時にポーター等が勝手に荷物の運搬を手伝う場合がありますので、不要な場合ははっきりと断ってください。不用意にポーターに手伝ってもらい、費用が発生した場合は各自で負担願います。また、前述のとおり、空港出迎え車輛等に荷物を移動する場合には、特に携行荷物等の貴重品管理に注意を払ってください。空港内では置引、スリ、引ったくりが多発しておりますので、落ち着いて荷物に十分注意を払いながら行動してください。

・銀行口座開設について：（長期ボランティアのみ）

スワジランド赴任後に生活費等の振込先として、当地銀行口座を開設します。当地での銀行口座開設には、マネーロンダリング防止強化のため、滞在 VISA 取得後でなくては口座を開設することができなくなり、口座開設までに最低でも 1 か月を要するためご注意ください。当地での車の購入等を考えている SV の方は、日本の銀行から直接スワジランドの取引会社の銀行口座への送金もできますので、事前に日本で手続き等を確認するようにしてください。なお、現地口座の開設に伴って発行される銀行 ATM カードはデビット・カードとしての利用が可能です。

なお、現地通貨口座の開設は必須となります。他方、希望する場合には海外手当振込み用にドル貨口座の開設も可能ですので、各自で手続きをするようにしてください。なお、利用する見込みがない状況でドル貨口座を開設することは絶対にお止め下さい。

本邦以外の銀行に個人の口座を保有し、生活費等の振込みを同口座に考えている方は、同地から当国で開設する銀行口座への振込みが出来ない可能性がありますので、予め調査する必要があるでしょう。

・スワジランドで入手できる物品

電化製品、食料品、衣料品等は日本と変わらず入手できます。電圧は 240V です。100V や 110V への簡易変圧器は現地でも購入出来ませんが、もしも容量が大きい電気製品を持ち込むならば、各自で持ち込んだ方がよいでしょう。また、コンセントの形状は南アと同じ独特の 3 ピン（通常の B3 タイプは合わないため、日本では購入できません）ですが、コンセント変換アダプターを南アや現地で購入することで、日本タイプのプラグに対応した電化製品も利用できるようになります。



食料品として、醤油、麺類（インスタントラーメン等）、お米（長粒米）などは大きなスーパーマーケットで購入可能です。中華食料品店も首都やマンジニにありますが、豆腐や麺類、中華調味料が手に入る程度で限定的です。

衣料品、靴および化粧品は、南アほどではありませんが、多種多様に入手可能です。また、毛布、電気蚊取器や虫除け、ろ過器も購入可能です。コンタクトレンズ保存・洗浄液等は首都部では購入可能ですが、種類が限定され、かつ、高価です。

以上